

第5学年1組 学級活動 (3)指導案

1. 日時・場所 令和2年11月18日(水) 13時35分～14時20分 特別活動室

2. 題材「清掃活動を見直そう」

(イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義と理解)

学級目標 多笑多学

3. 題材について

(1) 児童の実態

優しく素直な児童が多い。挨拶ができたり、お礼が言えたりと、基本的な生活習慣を大切にしようとする姿勢が見られる。しかし、自治的集団としてはまだまだ成長過程にある。自分が好きなことや、やりたいことは行動するが、苦手なことに粘り強く取り組んだり、自ら課題を見つけ取り組んだりすることは難しい。また、友達の輪に入るのが難しく、中休みを一人で過ごす子も見られる。なかよし級からの交流児童が5名おり、国語、算数以外は交流している。

前期の振り返りを行った際には、「多笑多学」という学級目標に対して、どれくらい到達できたかを聞いた。約70%の児童が9割ぐらい到達できたと言っていた。「挨拶ができるようになった。」「立候補できるようになった。」など、今までよりも挑戦しようとする姿勢が見られた半年間だった。後期に頑張りたいことでは、「困っている人がいたら、自分から助けたい。」「挨拶・返事をしっかりできるようになりたい。」「みんなが仲良くなるようなイベントを企画したい。」など様々な目標が出され、各々が自分なりの考えをもつことができた。後期の係活動では、自分だけでなく、友達を楽しませるような企画を考えたり、廊下にゴミが落ちていたら、自分から拾ったりするなどの率先した態度が少しずつ見られるようになってきた。これからは、より友達や周りのことに視野を広げ、自分ができることややらなければならない役割について、責任をもって取り組めるようにしていきたいと考えている。

(2) 題材設定の理由

学校生活を通して、清掃の仕方、心構えなど、折に触れて今まで掃除に関する指導を行ってきた。5年生になると、「出張掃除」が増えてくる。決められた掃除だけでなく自分で考えて掃除ができるか、残ったバケツの片付けなど協力して取り組むことができるか、担当の場所の掃除が早く終わると他の場所を手伝うことができるかなど、周りに目を向けるようになってきた。清掃が始まり、3ヶ月が過ぎたが、掃除に向かう気持ちや清掃方法に差が見られるようになってきた。何のために掃除をするのかの意義を考えられるようにし、自分の責任を果たせるようするために、この題材を設定した。

本実践では、意識調査のアンケート、掃除や普段の教室の様子などの写真や映像を効果的に使用することで、一人ひとりが自分のこととして考えられるようにしていきたい。写真や映像を効果的に使用することで、課題に対して前向きに取り組めるようにしていく。また、学校の清掃を担当する用務員にも焦点を当てていくことで、掃除をする人の思いや願いを知り、自分の役割や責任を果たすことの大切さに気付かせたい。学校の中で、自分のめあてを見つけたり、見直したりして取り組み、自分の責任を果たす経験を活かして社会参画することにつなげていきたい。

4. 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	希望や目標をもつこと、働くことや学ぶことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他社と協働して、自己実現に向けて自主的に行動しようとしている。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
11月13日(金) 朝の時間	・掃除のアンケートについて答える。	○普段の掃除の様子について具体的な場面を思い起こせるよう助言する。	アンケート (児童の意識を高める資料)	☆アンケートに答えることで、掃除について、学習への見通しをもとうとしている。 【主体的態度】 〈アンケート〉

(2) 本時の展開

① ねらい

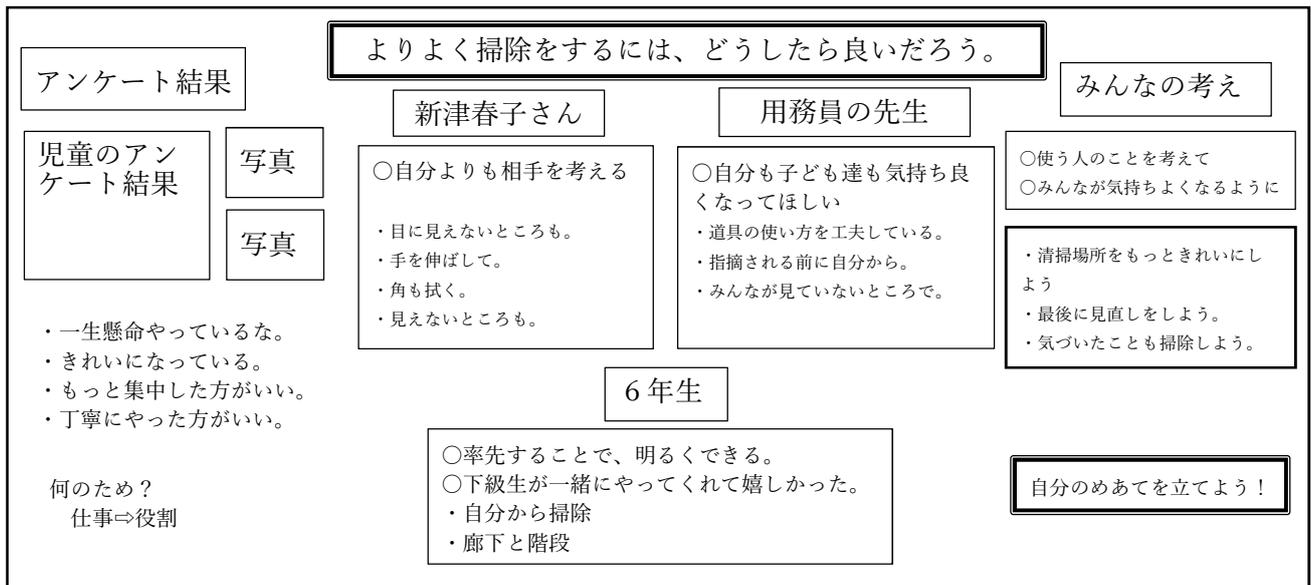
清掃活動を振り返ることで、自分の役割を果たすことや協力することの大切さに気づき、解決のために話し合っ自分にあつためあてを立てる。

② 展開

	児童の活動	○指導上の留意点	・資料	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
導入	1. クラスの掃除アンケートの結果や清掃場面の写真を見て、掃除の様子を振り返る。 ・もっと丁寧にやればよかったな。 ・汚い箇所があった。 ・頑張っ取り組んでいる。 ・集中してやっているよ。	○アンケートの集計結果から、本時の課題設定につなげるようにする。 ○清掃中の写真を見ることで、普段の掃除の様子を振り返られるようにする。	①アンケート結果 ②掃除の様子の写真	
つかむ				
展開	よりよく掃除をするには、どうすればよいだろう。			
さぐる	2. 新津春子さんの清掃している姿を知る。 ・丁寧にやっているな。 ・見えないところもやっているな。 ・相手のことを考えて掃除しているな。	○働くことが自分のためだけでないことなど、働く意義の理解につなげられるようにする。 ○自分の役割や大切さや働くことの大切さに気づけるようにする。	③ 動画 〈新津春子さんの番組〉 (ねらいを焦点化する資料)	
見つける	3. 用務員のインタビュー映像を見て、どのような掃除をしているかやどんな想いを持って仕事をしているかを知る。 ・道具の使い方を工夫していたよ。 ・言われる前に自分から掃除をしていた。 ・みんなのことを思っやっているね。 ・責任をもっ仕事をやっているね。 4. 用務員さん以外に学校をきれいにする人がいるか考える。 ・6年生が自分から階段を掃除していた。 ・下級生の手本になっていたよ。 5. よりよい掃除をするには、どうしたらよいかについて具体的に話し合う。 ・自分の担当場所を責任もっ掃除したい。最後にチェックするなど。 ・お互いに声を掛け合っ取り組む。 ・気づいた人が他の掃除を手伝う。	○清掃することの大切さを知り、グループで話し合っ自分のめあてを立てられるようにする。	④ 動画 〈用務員の先生方のインタビュー〉(ねらいを焦点化する資料) ⑤ 動画 〈6年生のインタビュー〉(ねらいを焦点化する資料)	☆掃除をすることの大切さを理解している。 (知識、技能)
終末	6. 授業を振り返り、自分のめあてを書く。 ・自分の担当場所でゴミが一つも落ちていないように掃除したいな。 ・協力して、分担することで効率よく掃除をしたい。 ・他の場所も掃除できないか探せるようにする。	○具体的なめあてを立てられるよう、個に合わせためあてを立てるよう助言する。		☆実践できそうな具体的なめあてを立てている。(思考・判断・表現)
決める				

③視点：本時のねらいについて、資料やその見せ方が効果的であったか。

④板書計画



(3) 事後の指導

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
11月19日～	・意思決定しためあてを意識して実践する。	○一人一人のめあてを掲示するなどして、実戦への意欲付けとなるようにする。	☆意思決定したことを実践している。 【思考・判断・表現】 〈観察〉
11月25日(水) 朝の時間	・実践について振り返る。	○振り返りを行う機会を設定し、継続した実践になるようにしたり、必要に応じて新たにめあてを立てて取り組んだりできるようにする。	☆実践を振り返り、今後の学校生活に生かそうとしている。 【主体的な態度】 〈学習カード〉

6. 資料

<p>(1) 児童の意識を高めるための資料</p> <p>アンケート</p>	<p>(2) ねらいを焦点化するための資料</p> <p>パワーポイント</p>	<p>(3) 実戦への意欲付けのための資料</p> <p>めあてカード</p>
--	--	---